

高橋のぶたか



多様化した現代にマッチした
伊勢崎市にしていきましょう

駅前などでイベントも増えてきて、新保健センターの建設も始まり、織物協同組合との連携や図書館移転の検討も始まりました。まちなかの活性化には、インフラの基盤整備である区画整理事業を加速させることが重要です。市長の答弁も前向きになってきました。

駅周辺第一土地区画整理事業

(線路より南側) 31.8ha

総事業費250億円

平成8年度～令和17年度 (40年間)

事業費ベース進捗率

R2 : 59.3%

R3 : 62.2%

R4 : 64.3%

駅周辺第二土地区画整理事業

(線路より北側) 12.6ha

総事業費83億円

平成13年度～令和10年度 (28年間)

事業費ベース進捗率

R2 : 65.4%

R3 : 68.2%

R4 : 71.5%



市図書館移転、官民連携複合施設

図書・学習機能、創業支援、まちなか情報の発信、織物産業の伝承

場 所：伊勢崎織物協同組合の所有地、いせさき明治館など9,200m²

令和3年度：組合と市で活性化のための基本協定締結

令和4年度：検討委員会(7人で7回の会議を行い、「独立採算を前提とする民間部分と、情報発信や学習機能などを備えた公共部分を一体的に整備する方向性を示す意見書」提出)

令和5年度：庁内組織の策定委員会にて意見を元に基本構想を検討中

令和6年度：基本構想策定を目指す

高橋は、図書館移転やまちなか活性化に賛成ですが、その上で…

- ・〇〇を行いたいという希望を注ぎ込むことは大切ですが、同時に、人々が求めている現実的な計画にしていくことも重要。
- ・市民にとって有益となる計画を。
- ・組合所有地は、市が賃借とのことだが十分な協議を。
- ・複雑な大案件の為、市民の意見を聞き、情報共有を常に心掛けて。

(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター

1. 保健機能の強化

4ヶ所のセンター（健康管理センター、赤堀保健福祉センター、あずま保健センター、境保健センター）を1ヶ所へ集約。老朽化、分散しているため業務が非効率などのため

2. まちなかの活性化

保健師さんなど50名程が勤務する。

市民の交流・いこいの場（オープンスペース、展望デッキ）

令和7年4月オープン予定 延床面積5,319.24m² 鉄骨造3階建
総事業費（設計・建設・外構）26億円：国費22億円、市費4億円



プレイルーム

赤城・棟名・妙義が見渡せる展望デッキ



公園内に民間カフェ等公募&市民プール跡地駐車場化



市内の救急出動の状況



伊勢崎医療圏(伊勢崎市及び玉村町)内における救急出動データ

年	救急出動件数	病院収容までの所要時間	圏内収容率
R2	10,457 件	40分 6秒	78.8%
R3	11,184 件	42分 6秒	78.4%
R4	12,472 件	46分 2秒	74.9%
R5	13,499 件	精査中	75.1%

コロナの影響もありましたが、救急出動件数の増加の主な原因是、高齢者の急変(約60%)です。救急体制の充実と受け入れる医療機能の強化が大切であり、課題です。

新型コロナワクチン接種状況

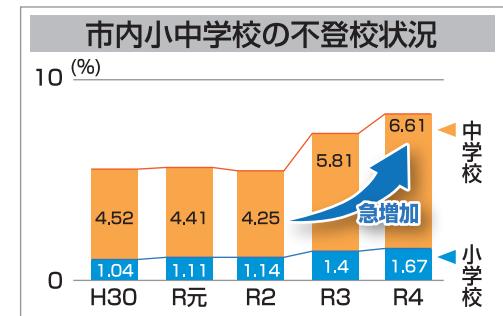
自己判断が
大切です。

市内総人口212,200人当りの接種率:令和6年1月14日現在						
1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
81.6%	81.3%	66.1%	43.1%	28.1%	17.9%	12.1%

児童・生徒・先生が「行きたくない学校」→「行きたくなる学校」へ

不登校とは「年間30日以上欠席した人のうち、病気や経済的な理由による人を除いた人」とのこと。

参考：文部科学省
不登校の現状に関する認識



行きたい子供に問題があるのではなく、学校教育システムが今の時代にマッチしていない証しです。先生も多忙化し病んでしまっている人が増えています。「変えるのは学校と教育システム」

放課後等デイサービス利用条件緩和

教育と福祉の連携を強化し、令和5年の2学期から、学校の承諾があれば、学校に通っていない子も放課後等デイサービスを利用できるようになりました。

障害(バリア)を取り除こう



障害者差別解消法改正により、令和6年4月から民間事業者(個人事業主・ボランティア団体も含まれます)における合理的配慮が義務化されます。又、令和6年4月から企業への障害者雇用率も2.3%→2.5%に。

上下水道料金値上げ(上下水道施設を維持していくため)

上水道 4年ごとに段階的に値上げ

▲ 2020年約10%値上げ済

▲ 2024年4月から全体で約7.2%値上げ予定

▲ 2028年にも予定

下水道 4年ごとに段階的に値上げ

▲ 2024年4月から全体で約15%値上げ予定

▲ 2028年と2032年にも予定

先送りできない課題として、ご理解を。



「Nothing About us without us」(私たちのことを私たち抜きで決めないで)

障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク

障害者議員を中心とした超党派グループで、全国に50人程いるとされる障害者議員のうち、現在32名が加入、年に2回全国大会を開催。

■ 障害者議員率は、わずか0.15%(全国の国会議員・地方議員33,000人) ■ 全国障害者手帳保持者率9.2%(1,160万人)

伊勢崎全国大会(令和6年1月)

能登半島地震の意見交換・緊急カンパを実施。全国から多くの障害者議員が伊勢崎市に集まってくれました。



名古屋・豊田全国大会(令和5年7月)

名古屋城エレベーター設置問題の視察と河村市長へ意見書を提出しました。



ハードもハートもバリアフリーに

高橋 宜 隆 (たかはし のぶたか)

〒372-0052 伊勢崎市寿町 60-2

1974年7月20日生 49才

☎/FAX 0270-24-3159 ☎ 090-6476-8269

妻・娘3人(大学4年生・大学2年生・中学3年生)

■ 1級土木施工管理技士 ■ 2級建築士 ■ 測量士

■ 福祉用具専門相談員 ■ 福祉住環境コーディネーター2級

■ 障害平等研修認定ファシリテーター ■ 空手道2段

● 伊勢崎市議会議員2期目 ● 有志会幹事長

● 経済市民委員 ● 青少年問題協議会委員

● 公共施設のあり方調査特別委員

1987年 伊勢崎市立北小学校 卒業 (少年野球赤石クラブ)

1990年 伊勢崎市立第三中学校 卒業 (バレーボール部)

1993年 伊勢崎東高校 (現伊勢崎高校) 卒業 (空手道部)

1997年 第一工業大学工学部 卒業 (応援団部)

丸磯建設株式会社 勤務 (ダム、道路工事等)

2002年 有限会社山下土木 役員

2004年 不動建設 起業

2009年 不動建設株式会社 代表取締役

2010年 仕事中の落下事故により頸髄(C6完全麻痺)を損傷し、

80%の身体機能を失い、身体障害者1級、車椅子生活

2014年「ふくしラボ」起業: バリアフリーリフォーム・福祉相談

2016年・「バリラボ」設立: 共感看板プロジェクト等

・「DET群馬」設立: 障害平等研修(DET)等

2019年 東京2020オリパラのボランティア研修の講師を務める

L-SAPORTA
LINE登録者募集中



高橋のぶたか
LINE公式アカウント

